



第 125 号(平成 30 年 9 月 11 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年 1 月 1 日～9 月 2 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	214	25	5	109	99	238	10
平成 29 年	218	43	3	119	80	245	26
前年同期比	-4	-18	+2	-10	+19	-7	-16
内)BC	-15	-2	+1	-4	-20	-25	-12

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	46	21.5%	8		24	19	51
	後立山	55	25.7%	6	2	28	23	59
	その他	28	13.1%	2	1	14	13	30
	計	129	60.3%	16	3	66	55	140
中央アルプス	13	6.1%	1		4	8	13	
南アルプス	6	2.8%		2	2	2	6	
八ヶ岳連峰	25	11.7%	4		20	10	34	
その他の山岳	41	19.2%	4		17	24	45	
計	214		25	5	109	99	238	

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	63	29.4%	19		51		70
転倒	49	22.9%			49		49
病気	19	8.9%	2			17	19
道迷い	33	15.4%		1		39	40
落石	1	0.5%			1		1
雪崩	1	0.5%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	25	11.7%				32	32
不明・他	23	10.7%	3	4	8	11	26
計	214		25	5	109	99	238

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下			2	5	7	30人 19.1%			1	4	5	24人 29.6%	12	54人 22.7%
20代			2	6	8		1		3	7	11		19	
30代	3		7	5	15		1		6	1	8		23	
40代	5	0	9	9	23	57人 36.3%			13		13	26人 32.1%	36	83人 34.9%
50代	2	2	17	13	34		1		6	6	13		47	
60代	7	2	12	21	42	70人 44.6%	1		12	6	19	31人 38.3%	61	101人 42.4%
70以上	3	1	13	11	28		1		6	5	12		40	
計	20	5	62	70	157		5	0	47	29	81		238	
比率	66.0%						34.0%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
8月27日	御嶽山	68	女	その他	負傷	田の原へ向けて下山中、負傷
27日、御嶽山王滝口登山道八合目付近において、女性Aさん68歳が、階段を踏み外して左足を骨折する山岳遭難が発生し、消防で救助して病院に収容しました。						
8月28日	八ヶ岳連峰 蓼科山	65	女	転倒	負傷	山頂から下山中、バランスを崩し転倒、負傷
28日、蓼科山で、女性Aさん65歳が右足を負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、佐久警察署員が救助しました。						
8月28日	北アルプス 餓鬼岳	64	女	滑落	負傷	白沢登山口に向けて下山中、滑落、負傷
28日、北アルプス餓鬼岳で、女性Aさん64歳が滑落し、鎖骨骨折の重傷を負う山岳遭難が発生し、大町警察署山岳救助隊が救助しました。						
8月28日	八ヶ岳連峰 横岳	75	男	滑落	死亡	赤岳に向けて縦走中、足を滑らせ滑落
28日、八ヶ岳連峰横岳三叉峰付近で、男性Aさん75歳が滑落し、左足を負傷する山岳遭難が発生し、29日、茅野警察署員及び諏訪地区遭対協隊員により収容され、死亡が確認されました。						
8月28日	北アルプス 小蓮華山	59	男	疲労	無事救出	白馬乗鞍岳から小蓮華山に向けて縦走中、疲労のため行動不能
28日、北アルプス白馬乗鞍岳と小蓮華山の間で、男性Aさん59歳が疲労のため行動不能となる山岳遭難が発生し、北アルプス北部地区遭対協が救助しました。						
8月31日	北アルプス 唐松岳	67	女	疲労	無事救出	山頂に向けて登山中、疲労により行動不能
31日、北アルプス唐松岳で、女性Aさん67歳が疲労のため行動不能となる山岳遭難が発生し、大町署山岳遭難救助隊等が救助しました。						
9月2日	北アルプス 奥穂高岳	55	男	転倒	負傷	奥穂高岳から涸沢に向けて下山中、バランスを崩して転倒、負傷
2日、北アルプス奥穂高岳ザイテングラード付近で、男性Aさん55歳が転倒して足に重傷を負う山岳遭難が発生し、県警ヘリにより救助されました。						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

8月5週は7件の山岳遭難が発生しました。転倒・滑落や疲労により行動不能となる遭難が後を絶ちません。滑落・転倒のほとんどは、下山時に発生しています。原因としては、バランスを崩したり、石につまずいたり、登山道上で足を滑らせたことによるもので、その背景には疲労による筋力や集中力の低下が関係していると思われます。日頃からトレーニングを継続して、長時間の行動に耐えることができる体力を養うとともに、登山計画は、遅くとも目的地に午後3時までには到着するように計画しましょう。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝